

観光立国・グローバル日本になる為に

— 地図記号・ピクトグラム等の見直しや追加 —

今迄の様な、「日本人に理解してもらえば十分であるという時代」は終了したのです。これからは、さらに増え続けるであろう世界各国の人々が、解りやすい記号にしていく必要に迫られているのが現状なのです。そこで今回は、現在国を挙げて取り組んでいる状況を、以下にご紹介したいと考えております。我々日本人も、これらの変化をきちんと把握しておく必要があるでしょう。きっとお役に立つと思われます。

「〒、H、x」も外国人が見ると「誤解」「意味不明」に!

日本の地図記号を、外国人が見ると「〒(郵便局)」は「意味不明」、「H(ホテル)」は「ヘリポート」、「x(交番)」は「進入禁止」など、誤解や戸惑いがあるそうです。

地図記号だけでなく、駅の乗り換え案内、トイレや非常口などで使われているピクトグラム(案内用図記号)や、地名等の英語表記(富士山:Fujisan→Mt.Fujiなど)も見直しが進められています。



コンビニやATMも新たに登場!

新しい地図記号は、外国人がよく訪れる施設を中心に、例えば「〒」は、封筒をイメージした記号に変更されています。教会の「十」(十字架)は、墓地と混同されるおそれがあり、病院も「教会に見える」との理由で、十字架と建物とを組み合わせた図柄になりました。また、新たにレストラン、トイレ、コンビニ、ATMなども登場しました。

(国土地理院ホームページより)

項目	新しい記号	従来の記号	項目	新しい記号	従来の記号
郵便局			ホテル		
交番			レストラン		—
教会			トイレ		—
博物館/美術館			鉄道駅		—
病院			空港/飛行場		
銀行/ATM		—	コンビニエンスストア/ スーパーマーケット		—
ショッピングセンター/ 百貨店		—			